



新潟県合同輸血療法委員会 使用適正化班活動報告

使用適正化班

- 県立中央病院 永井 孝一
- 新潟労災病院 山崎 健
- 厚生連小千谷総合病院 小林 由佳里
- 下越病院 大倉 一晃
- 燕労災病院 渡邊 誠

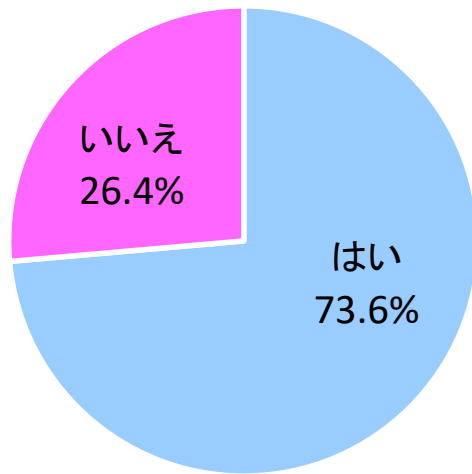
活動内容(令和元年度～)

- 7月に班員との顔合わせ
- 活動方針についてメールで話し合い

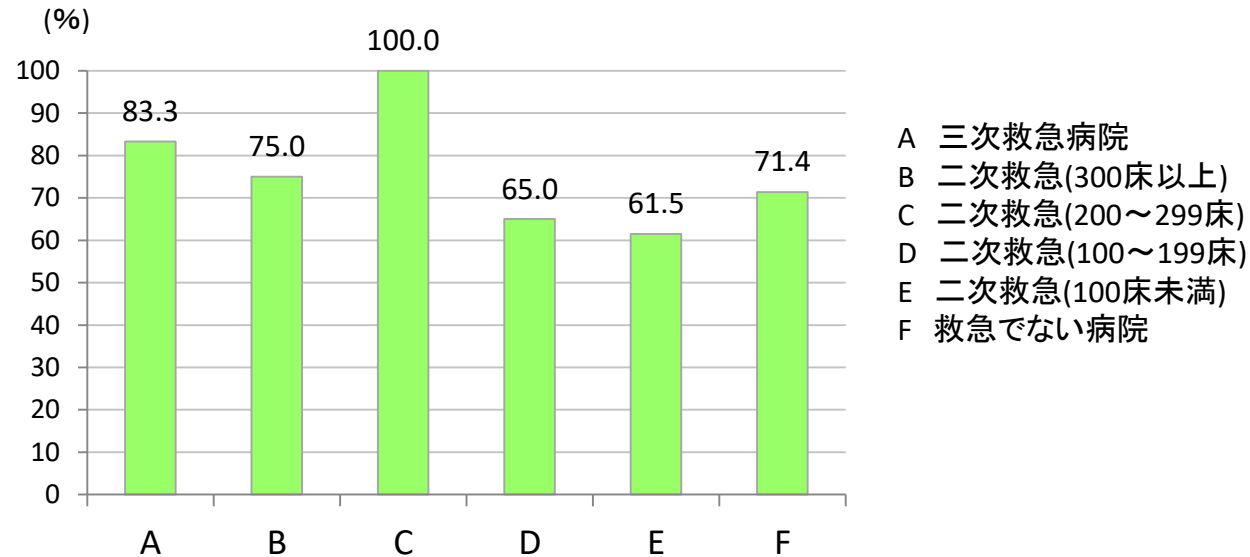
⇒輸血の妥当性のチェックについての
現状を調査する

H30年度 輸血療法委員会に関するアンケート調査結果より

輸血の妥当性について
チェックしていますか？



施設規模別の実施率



輸血の妥当性チェックの実施率は全体で7割程度
200床未満の二次救急病院では6割程度にとどまっている

H30年度 輸血療法委員会に関する アンケート調査結果より

妥当性チェックの実施内容

輸血前後のデータを確認
患者情報の確認
主治医に確認
使用目的を伝票等に記載
輸血療法委員会で検討 など

⇒施設により対応は異なる
単一では実効性が低いものもある

妥当性チェックの実施率向上を目指して

- アンケート調査を実施予定

妥当性チェックを行っている施設から
具体策についてより詳細に調査する

どの施設でも実施できるような仕組みへ

まとめ

- 輸血の妥当性チェックの実施率は7割程度、200床未満の施設では6割程度にとどまる
- 実施率を向上させて適正使用に繋がられるように、より詳細な具体策についてアンケート調査を実施していく